

北海道八雲町より直送!!

今年が
ラスト!

ホタテ販売会

小牧市の友好都市「北海道八雲町」の産直ホタテ販売会は、価格の高騰により今年が最後の開催になります。この機会をお見逃しなく！昆布、鮭関連商品などの北海道物産販売も同時に行います。



小牧・上街道フェスタ
実行委員会による
温かいきしめんの販売



有機・無農薬野菜の
『にんじんCLUB』
同時出店します!



日時

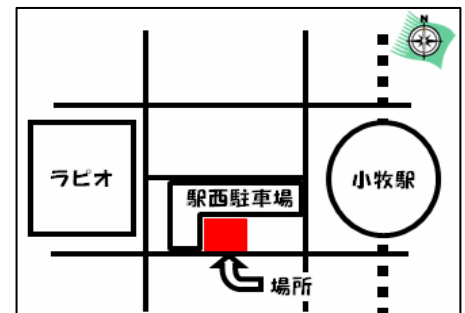
平成28年2月14日(日)

午前9時～正午(雨天決行) ※売り切れ次第終了

場所

小牧駅前にぎわい広場

(市営小牧駅西駐車場南)



料金

1袋 500円

※お一人さま4袋まで。

※価格高騰のため枚数は調整させていただきます。

主催：特定非営利活動法人 こまき市民活動ネットワーク

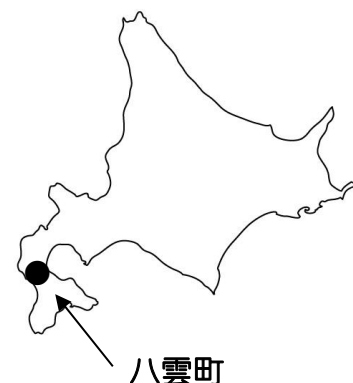
後援：八雲町/小牧市/小牧商工会議所

裏面もご覧ください⇒

～八雲町との交流について～

<先代の縁>

明治 11 年、尾張徳川家第 17 代当主徳川慶勝氏が北海道遊楽部原野の開拓使を願い出るとともに、旧尾張藩から八雲へ、人々の移住を推進。その後、愛知県全戸から続々と入植し、大正 7 年には愛知県出身者の家が 600 戸、うち小牧からの入植も 70 戸を数えたという。



<小牧山と徳川家>

小牧・長久手の合戦以降、小牧山は長年尾張徳川家の所有となっていたところ、昭和 2 年には国から史跡に指定され、今日と同じように一般公開されるようになった。昭和 5 年、尾張徳川家第 19 代当主徳川義親氏により、小牧山は当時の小牧町へ寄贈された。

<交流のはじまり>

昭和 57 年に実施された小牧山公開 55 周年記念事業の際、ご臨席されていた尾張徳川家第 20 代当主徳川義知氏が小牧市と八雲町との交流を提言されたのがきっかけとなり、両市町の交流が始まった。

昭和 58 年には児童交流が開始されただけでなく、平成元年には小牧市・八雲町交流市民の会が設立され、市民交流の輪が広がっている。

<ホタテ販売について>

このような経緯により、(特)こまき市民活動ネットワークでは、八雲町との交流と PR を目的に平成 20 年度よりホタテの販売を始めました。今回で 8 回目となるこのイベントは、皆様においしいホタテを食べてもらいたいと願う多くのボランティアスタッフにより運営されています。少しでも友好都市「北海道八雲町」への関心を持っていただき、ご購入いただければ幸いです。

問合せ先：特定非営利活動法人 こまき市民活動ネットワーク
〒485-0041 小牧市小牧二丁目 107 番地 小牧市公民館 4F
電話 (0568) 74-4011 FAX (0568) 74-4070
E-mail : komaki.civic-net@me.ccnw.ne.jp
HP : <http://www.npo-komaki.net/>
開設時間：10 時～18 時 休館日：月曜日